

中学女子硬式テニス部

関東大会結果報告 1回戦突破

11月26日、東京都立小金井公園スポーツセンター・テニスコートで各県代表24校による関東大会が行われた。今年は東京開催、会場は小金井、選手達は早朝学校に集まり練習をしてから会場に向かった。朝練では3年生が最後の調整、確認をしてくれた。3年生の期待に応える為にも必勝を心に誓った。1回戦の相手は埼玉県1位、小谷場中学校、ダブルスが2試合同時開始、まず2勝、シングルス3つ、2勝1敗で、団体戦4勝1敗で1回戦突破。

ダブルス2 : 相手エースと激突、打ち合えば不利、勇気を持って前へでた。

荒木・池亀ペア : 荒木・池亀のボレーが次々に決まる。勇気と作戦の勝利だった。

ダブルス1 : 緊張からか青木のファーストサーブが入らない、自分達のペースになら

青木・佐野ペア : い、佐野が粘り一進一退の攻防、終盤相手がリード、必死に喰らいつきタイブレーク、最後は青木のボレーがコートに突き刺さり勝利を手にする。

シングルス3 : 相手を終始圧倒、サーブで崩し6-0ストレートで勝利。

野口

シングルス2 : 相手2番手と激突、熾烈な戦いを繰り広げるも敗戦。

奥山

シングルス1 : 相手エース、埼玉県NO.1と言ってもよい相手と激突、力でねじ伏せた。

蝦名

2回戦の相手は神奈川県2位の富岡中学校。昨年の夏、関東大会で対戦、全国大会出場の夢を断たれた因縁の相手、富岡は全国大会ベスト8まで進んだ。今回も第4シードと優勝候補の一角、選手はリベンジを誓い、猪狩監督は勝負に出た。

ダブルス2 : 相手に0-3とリードされるも必死に喰らいつき3-3のデュースまで

青木・荒木ペア : 纏れ込む、相手も浮き足立ちチャンスと思われたが最後僅かに運無く惜敗。

ダブルス1 : 遺憾なく力を発揮6-2で勝利を手にした。

池亀・野口ペア :

シングルス3 : 相手2番手と激突、熾烈な戦いも一歩及ばず敗戦。

奥山

シングルス2 : 相手エースと激突、昨年も対決、負けている相手、一進一退の攻防、蝦

蝦名 : 名が一步抜け出しリードを保ち勝利を手にした。

シングルス1 : 団体戦2勝2敗、プレッシャーかかる大一番、佐野は必死に戦った。

佐野 : 相手は全国経験者、格上に堂々の試合展開、敗戦も次こそはとの気迫あり。

結果は2勝3敗の敗戦、猪狩監督は「選手は良く頑張ってくれました。保護者の皆様や3年生・仲間の応援があったから力を出し切りました」と選手の労をねぎらいながら悔しさをにじませた。なぜなら富岡はこのあと勝ち進み3位となったからである。悔しい惜敗、力があるから、力がついてきたから、なおさら、悔しさが大きい。この悔しさを次の成長の糧とする。今朝もテニスコートに声が響き渡る。1日一歩、きょう出来る事をやる。頑張れ！！

高校男女
剣道

第7支部大会 男子準優勝

11月23日、日本工学院八王子専門学校体育館で第7支部大会、団体戦・個人戦が行われた。秋季大会が台風の為中止となり、新チームにとっては初めての公式戦となった。男子団体戦は4回戦、永山高校とは1対1だったが本数差で勝利、苦しみながらではあるが決勝戦へ駒を進めた。決勝戦、八王子実践、先鋒：清水、面1本を決め勢いをつけ、次鋒：関口、中堅、伊藤がしぶとく引き分け、副将：田中、果敢に攻め1本取るも2本負け、勝敗本数共に同点で大将：力武へ、気合充実、試合開始草々、力武のコテが決まったかに見えた、旗が1本あがるが惜しくもポイントにならず、その後も一進一退の攻防、あと一歩と詰め寄るが相手の剣先が僅かに速く1本負けとなった。八幡先生は「悔しさが残りましたが、このチームの力を発揮しました。次はさらに上へ飛躍してくれると思います」と話された。女子団体は3人制、高校から剣道を始めた松本と川田の成長、主将の峰尾の踏ん張りで4回戦進出、4回戦では今回優勝した八王子実践を1勝2敗とあと一歩のところまで追い詰め、応援団・会場を大いにわかせた。男女共に年明けの大会でさらなる上を目指す。寒稽古、吐く息白く、板の間は氷のように冷たくも、立ち上る湯気、滴り落ちる汗、堅忍力行(けんになりょっこう)困難も強い意志で耐え忍び、努力して実行する。

《個人戦》男子 二・三段の部 3位 力武 女子 初段の部 3位 松本

男子団体

1回戦 明星5-0都昭和
2回戦 明星2-0南多摩
3回戦 明星2-1都立川
4回戦 明星1-1都永山
決勝 明星1-2八実践

女子団体

1回戦 明星3-0日野台
2回戦 明星2-1明治
3回戦 明星3-0八王子
4回戦 明星2-1八実践

中学
水泳

東京都選手権大会出場権獲得

来年、1月28日・29日、に行なわれる第10回東京都選手権水泳競技大会

『 KOSUKE KITAJIMA CAP 2017 』

中学2年 横山天馬、50m自由形・100m自由形

中学1年 林武、100m背泳ぎ・200m背泳ぎ

2人が標準記録を突破、2種目で大会出場権を獲得した。この大会は全国大会へは続かないが、昨年、北島康介、リオ五輪メダリスト、萩野公介・松田丈志選手も出場した東京都大会では最上位の大会である。2020年、東京オリンピックを目指す選手達が競い合う大会だ。4年後2人は、横山が高校3年、林が高校2年、東京オリンピックで活躍する事を夢見る。頑張れ！！二人を、水泳部を、応援している！！頑張る時は今！！

高校女子
バレー

練習試合

11月26日、明星高校体育館で聖徳学園と練習試合を行なった。2年生は期末テスト一週間前で練習には参加していない。顧問の黒川先生が無謀にも1年生だけで聖徳の2年生チームに挑戦した。黒岩・ジェームス・佐藤・駒林・森田・富田・有坂・行武、8人娘の挑戦、黒岩・ジェームスがスパイクを決め、佐藤がレシーブで活躍、23-25と相手を追い詰めた、2セット目15-25、完敗、でも次は絶対勝つ、一致団結、強い絆で結ばれた。

高校男女 水泳

合同記録会

11月23日、穎明館室内プールで秋季合同水泳記録会、20校が参加して行なわれた。辻監督は「男女一緒に行なう今年最後の記録会、冬に向けて個人の課題を見つける記録会でした。ベストタイムを出した人、そうでない人、今後何をすべきか考えさらに努力して欲しい」と語られた。冬の筋トレ・走りこみ、頑張りましょう。応援している！！

【以下結果】

男子

| | | | | |
|-------------|----|-------------|---------|---------|
| 400mメドレーリレー | 2位 | 吉田・伊東・藤田・鈴木 | 4分10秒67 | |
| 200m個人メドレー | 1位 | 鈴木 | 4位 川畑 | 2分16秒42 |
| 100m背泳ぎ | 2位 | 吉田 | 1分01秒21 | |
| 100mバタフライ | 2位 | 藤田 | 1分01秒31 | |
| 100m自由形 | 3位 | 吉田 | 57秒67 | |
| 50m平泳ぎ | 3位 | 宗岡 | 33秒06 | |
| 50mバタフライ | 2位 | 久野 | 27秒54 | |
| 50m自由形 | 2位 | 鈴木 | 25秒42 | |
| 400mリレー | 2位 | 川畑・藤田・鈴木・吉田 | 3分48秒64 | |

女子

| | | | |
|-------------|----|-------------|---------|
| 100m背泳ぎ | 3位 | 植松 | 1分08秒87 |
| 400mメドレーリレー | 1位 | 植松・平本・新川・萩原 | 4分46秒83 |
| 400mリレー | 1位 | 平本・須山・植松・吉田 | 4分18秒50 |

中学 野球

11月23日、東村山7中学校グラウンドで、東村山7・桐朋・明星で練習試合を行なった。第1試合、東村山7中と対戦、先発、上條、この日はストレートも走り、コントロールもよくコースに投げ分け失点1で完投した。加藤・綿引がタイムリーヒット、4対1で第1試合勝利を手にした。第2試合、桐朋、先発、堀部、上條の好投に奮起したのか気迫のピッチング相手打線を1点に抑える好投。打席ではランホームランをうち投打でヒーローとなった。

日本ハムの大谷選手、投手・DHでベストナインW受賞、「きょうの堀部は投打にわたり活躍、ベストナイン・ダブル受賞だなー」と声をかけられ照れる笑顔に夕日が当たり、顔を真っ赤に染めていた。「少年よ大志を抱け！！」と鈴木監督が大声で叫んだ。

期末テスト近し！！ 準備万端！！

注意1秒、怪我一生！！

健闘を祈る！！ 合掌・アーメン